

Title	形象 2号 表紙
Author(s)	
Citation	形象. 2
Issue Date	2017-03-10
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/75791">https://hdl.handle.net/11094/75791</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

描く人の倫理と冒険——われわれの問いのめざすもの

感性論と形象論——スベキエス概念の美学的意義——横道仁志

形象における歴史——ベンヤミンの歴史哲学における構成の理論——柿木伸之

形象としての具体詩——高安啓介

素描と身振り——形象の「動力因」を求めて——三木順子

ヴルツブルク訪問記——ゲルハルトシュヴェツベンホイザー氏とトーマスフリードリヒ氏との鼎談——原千史

高安啓介『近代デザインの美学』『みすず書房、2015年』——柿木伸之

パリでのパウル・クレー展「作品におけるイロロ」と国際コロック「パウル・クレー——新たな視点」に接して——柿木伸之

# 形象

形象論研究会

Volume 2  
2017